

2024年5月3-5日 岳沢定着 前穂高岳、西穂高岳

メンバー L 結城、岩田、村中

3日間通して快晴。雪は少なかったがトレースはついており全行程をとおして条件は良かった。

1日目

ゴールデンウィーク後半の初日で駐車場には車が多かった。沢渡バスターミナルの足湯側の駐車場に停めて、バスは待ち時間なく出発。テントをはってから西穂沢の取り付きを確認に行った。岩はゴロゴロ、ブッシュは多く、デブリの壁もできていた。13時にビール解禁。初日のミッションは昼までに終えてしまったので……、以下略。

2日目

2時半起床。3時50分行動開始。奥明神沢の登り始めから急登でスピードが上がらない。ダイレクトルンゼのノド部分は積雪が残り、かといって凍ってもおらずスムーズに通過した。雪はしまっており、トレースも残っていたため、予定より1時間早く前穂高岳山頂に到着。滑落・落石に注意して慎重に下山した。

3日目

2時半起床。3時40分行動開始。アイゼンを装着して出発、岩場、ブッシュ、デブりをくぐり抜け西穂沢の取り付きに到着。朝から暖かく雪は緩かった。傾斜は前日の前穂よりは穏やかだが距離は長い。稜線手前が少し立っていたためピックを効かせて安全に通過した。稜線から西穂山頂までの南西斜面に雪はなく岩場だが、岩トレを兼ねてアイゼン装着のまま山頂へ。頂上は風も弱く360度展望が開けていた。下山の岩場も岩トレで下降。日差しは強く雪は腐っており、転倒に注意しながら下山した。西穂沢から小屋までの登り返しが思いの外キツイ。初日に取り付きを偵察していたが、最適ルートは見つけにくかった。9時50分に岳沢小屋に到着。ベースキャンプを撤収し、上高地バスターミナルへ。全国的な真夏日で小屋から下は夏山登山なみの暑さであった。

コースタイム

全日晴天

1日目

7:20 上高地バスターミナル - 10:20 岳沢小屋

2日目

3:50 岳沢小屋 - 6:50 前穂高岳 - 9:30 岳沢小屋

3日目

3:40 岳沢小屋 - 7:25 西穂高岳 - 9:50 岳沢小屋着 - 11:30 岳沢小屋テント撤収/出発

13:00 上高地バスターミナル







